

入出金明細（全銀形式・標準フォーマット）レコードフォーマット

ファイル名：50200003XX00 * XXはサイクル番号

①ヘッダーレコード(普通預金・当座預金・通知預金・定期預金)

項目番	項目名	属性	項目内容
1	データ区分	N(1)	「1」 ヘッダーレコード
2	種別コード	N(2)	「03」 入出金取引明細
3	コード区分	N(1)	使用文字コード区分 (0 : JIS 1 : EBCDIC)
4	作成日	N(6)	データ受信日 YYMMDD (和暦)
5	勘定日(自)	N(6)	勘定日 YYMMDD (和暦) 日付順の場合、「勘定日(自)」「勘定日(至)」は同一年月日をセット
6	勘定日(至)	N(6)	
7	銀行コード	N(4)	「0005」 固定
8	銀行名	C(15)	「ミツビシユーフジエイ」 (左詰めで残りはスペース)
9	支店コード	N(3)	照会口座の支店番号
10	支店名	C(15)	照会口座の支店名(カナ) (左詰めで残りはスペース)
11	ダミー	N(3)	「000」 固定値
12	預金種目	N(1)	科目コード 1: 普通預金 2: 当座預金 5: 通知預金 6: 定期預金
13	口座番号	N(10)	照会口座の口座番号 (右詰め、前は"0"で埋めます)
14	口座名	C(40)	照会口座の口座名(先頭40文字まで) (左詰め、残りはスペース)
15	貸越区分	N(1)	取引前残高の状態 1: プラス 2: マイナス
16	通帳・証書区分	N(1)	取引が通帳によるか証書によるかの区分を示す 【普通預金、当座預金の場合】 1: 通帳 データレコードが0件の場合も「1」をセット 【通知預金、定期預金の場合】 1: 通帳 2: 証書 明細が0件の場合はスペース
17	取引前残高	N(14)	取引前残高 (右詰め、前は"0"で埋めます)
18	ダミー	C(71)	スペース

②データレコード(普通預金・当座預金)

項目番	項目名	属性	項目内容
1	データ区分	N(1)	「2」 データレコード
2	照会番号	N(8)	銀行が採番した照会番号 勘定日の日付 (DD)+異動明細番号 (6桁)
3	勘定日	N(6)	勘定日 YYMMDD (和暦) 銀行営業日19時以降の当行日付変更処理完了後および土日・休日は、明細発生日の翌銀行営業日をセットします。
4	預入・払出日	N(6)	明細発生日 YYMMDD (和暦) 締後起算取引は、起算日をセットします。
5	入払区分 ※1	N(1)	入出金の状態 1: 入金 2: 出金
6	取引区分	N(2)	取引形態 10: 現金 11: 振込 12: 他店券入金 13: 交換 (取立入金および交換払) 14: 振替 18: その他 19: 訂正
7	取引金額	N(12)	取引金額 (右詰め、前は"0"で埋めます)

8	うち他店券金額	N(12)	取引金額中の他店券金額（右詰め、前は”0”で埋めます） 当日資金化される金額は含みません
9	交換呈示日	N(6)	他店券金額の交換呈示日 和暦 (YYMMDD) 項番8のうち他店券金額がスペースの場合、スペースをセット
10	不渡返還日	N(6)	証券類の不渡返還日 和暦 (YYMMDD) 上記以外の場合、オール0
11	手形・小切手区分	N(1)	手形小切手の種別 1：小切手 2：約束手形 3：為替手形 上記以外の場合、スペースをセット
12	手形・小切手番号	N(7)	手形小切手番号（右詰め、前は”0”で埋めます） 上記以外の場合、オール0
13	僚店番号	N(3)	統一店番号をセット
14	振込依頼人番号 【振込依頼人コード】	N(10)	振込依頼人番号を右詰めでセット（前は”0”で埋めます） 上記以外の場合、オール0
15	振込依頼人名 【振込依頼人名 または契約者番号】	C(48)	・振込依頼人名 ・公共料金需要家番号 ・代金取立手形入金の場合、振出人名 ・資金移動サービスの相手口座店番・科目・口座番号 上記などを左詰めでセット（残りはスペース）
16	仕向銀行名	C(15)	項番6の取引区分が、11：振込の場合 振込元銀行名を左詰めでセット（残りはスペース） 上記以外の場合、スペースをセット
17	仕向店名	C(15)	項番6の取引区分が、11：振込の場合 振込元預金店名を左詰めでセット（残りはスペース） 上記以外の場合、スペースをセット
18	3桁コード コード説明	C(3) C(17)	3桁コード（弊社独自のコード） コード説明（左詰めで残りはスペース） 口座振替引落の場合は、コード説明+スペース（1桁）+委託者指定コメント（通帳コメント）
19	EDI情報	C(20)	EDI情報 ※2
20	ダミー	C(1)	スペースをセット

③データレコード(通知預金・定期預金)

項目番	項目名	属性	項目内容
1	データ区分	N(1)	「2」データレコードをセット
2	識別番号	N(8)	預金番号（4桁）を右詰めでセット（前は”0”で埋めます）
3	勘定日	N(6)	勘定日 和暦 (YYMMDD)
4	預入・払出日	N(6)	入金／出金の取引日（起算日） 和暦 (YYMMDD) 過去日付の起算日取引が発生した場合、起算日がセットされます。
5	入払区分 ※1	N(1)	入払区分 1：入金 2：出金
6	取引区分	N(2)	取引形態 10：現金 12：他店券入金 14：振替 15：継続（自動継続を含む） 19：訂正
7	取引金額	N(12)	取引金額は右詰めでセット（前は”0”で埋めます）
8	うち他店券金額	N(12)	取引金額中の他店券金額を右詰めでセット（前は”0”で埋めます）
9	交換呈示日	N(6)	スペースをセット
10	不渡返還日	N(6)	証券類の不渡返還日 和暦 (YYMMDD) 上記以外の場合、オール0

11	手形・小切手区分	N(1)	スペースをセット
12	手形・小切手番号	N(7)	スペースをセット
13	僚店番号	N(3)	統一店番号をセット
14	当初預入日	N(6)	当初預入日 和暦 (YYMMDD) 但し、利息の中間払により作成された定期は、中間払日
15	利率 ※3	N(6)	預入時の利率 (年利：小数第4位まで) 例：0.25%の場合は、002500とセット 小数第5位以下がある場合は、スペースをセット
16	満期日	N(6)	【定期預金の場合】 満期日 和暦 (YYMMDD) 【通知預金の場合】 スペースをセット
17	期間(1)	N(7)	スペースをセット
18	期間利息	N(11)	スペースをセット
19	中間払利率	N(6)	スペースをセット
20	中間払区分	N(1)	スペースをセット
21	期後期間	N(4)	スペースをセット
22	期後利率	N(6)	スペースをセット
23	期後利息	N(9)	スペースをセット
24	合計利息	N(11)	利息の合計額を右詰めでセット (前は"0"で埋めます)
25	税区分	N(1)	スペースをセット
26	税率	N(4)	スペースをセット
27	税額	N(10)	(期間利息×税率) + (期後利息×税率) を右詰めでセット (前は"0"で埋めます)
28	税引後利息	N(11)	合計利息-税額を右詰めでセット (前は"0"で埋めます)
29	3桁コード	C(3)	3桁コード (弊社独自のコード)
	コード説明	C(17)	コード説明 (左詰めで残りはスペース)
30	期間 (2)	N(5)	スペースをセット
31	期間利息正負表示	N(1)	スペースをセット
32	ダミー	C(4)	スペースをセット

④トレーラレコード(普通預金・当座預金・通知預金・定期預金)

項目番	項目名	属性	項目内容
1	データ区分	N(1)	「8」トレーラレコードをセット
2	入金件数	N(6)	入払区分が「1：入金」であるデータレコードの件数を右詰めでセット (前は"0"で埋めます)
3	入金額合計	N(13)	入払区分が「1：入金」であるデータレコードの合計取引金額を右詰めでセット (前は"0"で埋めます)
4	出金件数	N(6)	入払区分が「2：出金」であるデータレコードの件数を右詰めでセット (前は"0"で埋めます)
5	出金額合計	N(13)	入払区分が「2：出金」であるデータレコードの合計取引金額を右詰めでセット (前は"0"で埋めます)
6	貸越区分	N(1)	貸越区分 1：プラス 2：マイナス
7	取引後残高	N(14)	最終明細の預金元帳残高の絶対値を右詰めでセット (前は"0"で埋めます)
8	データレコード件数	N(7)	データレコードの総件数を右詰めでセット (前は"0"で埋めます)
9	ダミー	C(139)	スペースをセット

(5)エンドレコード(普通預金・当座預金・通知預金・定期預金)

項目番	項目名	属性	項目内容
1	データ区分	N(1)	「9」エンドレコードをセット
2	レコード総件数	N(10)	エンドレコードまで含むデータの総件数を右詰めでセット（前は”0”で埋めます）
3	口座数	N(5)	ヘッダーレコードの総件数を右詰めでセット（前は”0”で埋めます）
4	ダミー	C(184)	スペースをセット

- 文字コードは「シフトJISコード」もしくは「EBCDICコード」（半角文字のみ、全角文字は使用不可）です。
- 属性 N: 数字 C: 文字 カッコ内はバイト数
半角文字は1文字あたり1バイトになります。
- 項目名の【】は、全銀フォーマットでの項目名になります。

※1 取引区分の訂正「19」を使用する場合には、入払区分を入金訂正は出金「2」、出金訂正は入金「1」とする。

※2 EDI情報欄に「、。」（濁点、濁点、半濁点）で始まる文字列がセットされた場合、
振込依頼人より金融EDI情報が送られてきていることを表します。

※3 取引区分の訂正「19」を使用する場合には、スペース（桁数分）とする。

- VALUX対応ソフトなどご利用ソフト独自の編集仕様については、ソフト提供元にご確認ください。